

JIS

耐食耐熱超合金，ニッケル及び ニッケル合金一棒

JIS G 4901 : 2023

(JSSA/JSA)

令和 5 年 4 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 45.10.1 改正：令和 5.4.20

官 報 掲 載 日：令和 5.4.20

原 案 作 成 者：ステンレス協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-5691)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類の記号	2
5 製造方法	3
6 化学成分	3
6.1 溶湯分析値	3
6.2 製品分析値	3
7 機械的性質	6
8 耐食性	7
9 結晶粒度	7
10 形状, 寸法及び許容差	8
11 外観	10
12 試験	10
12.1 分析試験	10
12.2 機械試験	10
12.3 腐食試験	11
12.4 結晶粒度試験	11
13 検査	11
14 表示	12
15 報告	12
附属書 A (参考) 耐食耐熱超合金, ニッケル及びニッケル合金の熱処理条件の例	13
解 説	15

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、ステンレス協会 (JSSA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 4901:2008** は改正され、この規格に置き換えられ、また、**JIS H 4553:1999** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

種類の記号	特許権者	発明の名称	特許番号	設定の登録の年月日
NCF354	日本冶金工業株式会社	有機酸と塩分を含有する環境下で使用するステンレス鋼	第 4325141 号	2009 年 6 月 19 日
NCF020	日本冶金工業株式会社	耐硫酸腐食性、耐粒界腐食性および表面性状に優れる Fe-Ni-Cr 系合金およびその製造方法	第 5950306 号	2016 年 6 月 17 日
NW6210	日立金属株式会社	熱間鍛造性および耐食性に優れた Ni 基合金	第 5725630 号	2015 年 4 月 10 日

上記の特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実施が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権等に関わる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権をいう。

耐食耐熱超合金，ニッケル及びニッケル合金—棒

Corrosion-resistant and heat-resistant superalloy,
nickel and nickel alloy—Bars

1 適用範囲

この規格は、耐食耐熱超合金、ニッケル及びニッケル合金の棒（丸棒、角棒、六角棒及び平材を総称して、以下、棒という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0401-2 製品の幾何特性仕様（GPS）—長さに関するサイズ公差の ISO コード方式—第 2 部：穴及び軸の許容差並びに基本サイズ公差クラスの表

JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）

JIS G 0202 鉄鋼用語（試験）

JIS G 0203 鉄鋼用語（製品及び品質）

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

JIS G 0551 鋼—結晶粒度の顕微鏡試験方法

JIS G 0567 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法

JIS H 1270 ニッケル及びニッケル合金—分析用試料採取方法及び分析方法通則

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2243-1 ブリネル硬さ試験—第 1 部：試験方法

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験—試験方法

JIS Z 2343-1 非破壊試験—浸透探傷試験—第 1 部：一般通則：浸透探傷試験方法及び浸透指示模様の分類

JIS Z 2344 金属材料のパルス反射法による超音波探傷試験方法通則